

令和7年度第1回石狩市自転車活用推進協議会 議事録

日時 令和8年3月27日（金）10時00分～10時30分
場所 石狩市役所2階 201会議室
出席者 石田会長、小島副会長、木村委員、平井委員、遠藤委員（代理：大友様）、長木委員、丸山委員、岡田委員
事務局 企画課交通担当課長 佐々木拓哉、企画課交通担当主査 吉田有絵
企画課交通担当主任 氏家峻、企画課交通担当主任 山本雅広
傍聴者 なし

次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 令和7年度の取組内容について
 - (2) 令和8年度の取組予定について
 - (3) 取組内容の実施状況と今後の予定について
3. 閉会

===== 審議内容の記録（審議経過、質疑、意見等） =====

※ 以下の質疑・意見については、○は委員発言要旨、●は事務局発言要旨

1. 開会
2. 議題

- (1) 令和7年度の取組内容について（※事務局より説明）

<資料2>

【質疑・意見】

○ルートマップの作成について、精査とはどのような作業が必要となったのか。

●ステージ分けについては、広域ルートということで、石狩市・増毛町・当別町・新篠津村の4自治体で協議会設置し、その中でルートマップの作成を進めている。

これまでも4自治体で定期的に打合せを行い、ルートの選定等を行ってきたが、マップに反映するという落とし込みの調整に各自治体で時間を要している状況である。このため、令和7年度中での完成が難しくなり、令和8年度に印刷を含めて冊子の作成を行う状況となっている。

- (2) 令和8年度の取組予定について（※事務局より説明）

<資料3>

【質疑・意見】

○全体的な取組内容については、この後の議題3で説明があるということによいか

●後ほど説明いたしますが、自転車活用に伴う普及・啓発事業についても引き続き進めてまいりたいと考えている。

また、令和6年度まで実施してきた自転車通行空間整備事業、石狩市の郊外部の整備が一段落しており、今後は、整備したサイクリングロードの活用方法について、もう少し深堀していきたいと考えている。

(3) 取組内容の実施状況と今後の予定について（※事務局より説明）

<資料4>

【質疑・意見】

○自転車通行の郊外部で矢羽根の路面表示や、自転車マップのデザイン、連携方法の検討、自転車マップの作製がある。一方で、e-バイク（電動アシストスポーツ自転車）の導入についても記載されているが、実施状況は理解できるものの、評価についてはどこかのタイミングで報告が行われるのか。

●自転車通行空間の整備に伴う利用状況（利用頻度等）については精査を進めているところであり、改めて本協議会において報告を行う予定である。また、e-バイクについては、厚田の道の駅においてレンタサイクルとして整備しており、その利用状況についても併せて本協議会にて報告を行う予定である。

○整備を進めている事業については、良い影響だけでなく課題や反省点も含めて評価を行うことが重要である。例えば、矢羽根の路面標示については、1冬、2冬を超えるたびに、除雪作業の影響で塗装がどの程度劣化するのかなど、検証すべき点がある。こうした評価や課題整理を一度行ったうえで、本協議会において評価を行う機会を設けていただければと思う。

3. 閉会

令和8年4月6日 議事録確定

石狩市自転車活用推進協議会

会長 